



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2018年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2017年11月13日

株式会社ケアサービス
(東証JASDAQ 2425)

- P. 3 2018年3月期 第2四半期連結決算概要
- P. 1 4 2018年3月期 通期連結業績予想概要
- P. 1 8 2018年3月期 上半期トピックス
- P. 2 4 中期成長戦略の推進
- P. 4 0 参考資料



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2018年3月期 第2四半期連結決算概要

2018年3月期 第2四半期実績（累計）（17-5-15付 対予想比）

- 売上高： 対予想比 0.7%未達
- 営業利益： 同 32.7%超過達成
- 経常利益： 同 44.5%超過達成
- 親会社株主に帰属する四半期純利益： 同 8.3%超過達成

※ 2017年9月25日に「平成30年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をリリースしておりますが、その予想数値と実績との差異は、大差ないために、当初の予想と実績の差異を下記に記載しております。

(百万円)	18/3月期 2Q (連結)		18/3月期 2Q (連結)		対予想比 (5/15付)	
	予想	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	4,287	100.0%	4,257	100.0%	△ 30	-0.7%
介護事業	3,115	72.7%	3,106	73.0%	△ 8	-0.3%
エンゼルケア事業	869	20.3%	870	20.4%	0	0.1%
フォーライフ事業	302	7.1%	280	6.6%	△ 22	-7.3%
営業利益	53	1.3%	71	1.7%	17	32.7%
経常利益	42	1.0%	61	1.4%	18	44.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	25	0.6%	27	0.7%	2	8.3%

2018年3月期 第2四半期実績（累計） 決算サマリ（対前期比）

- 売上高： 対前期比 0.7%増収
- 営業利益： 同 71百万円増益
- 経常利益： 同 2.4%減益
- 親会社株主に帰属する四半期純利益： 同 46.0%増益

(百万円)	17/3月期 2Q (連結)		18/3月期 2Q (連結)		対前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	4,226	100.0%	4,257	100.0%	30	0.7%
売上総利益	466	11.0%	568	13.4%	102	22.0%
販売費及び一般管理費	466	11.0%	497	11.7%	31	6.8%
営業利益	0	0.0%	71	1.7%	71	-
経常利益	63	1.5%	61	1.4%	△ 1	-2.4%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	-
特別損失	22	0.5%	4	0.1%	△ 17	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	19	0.5%	27	0.7%	8	46.0%

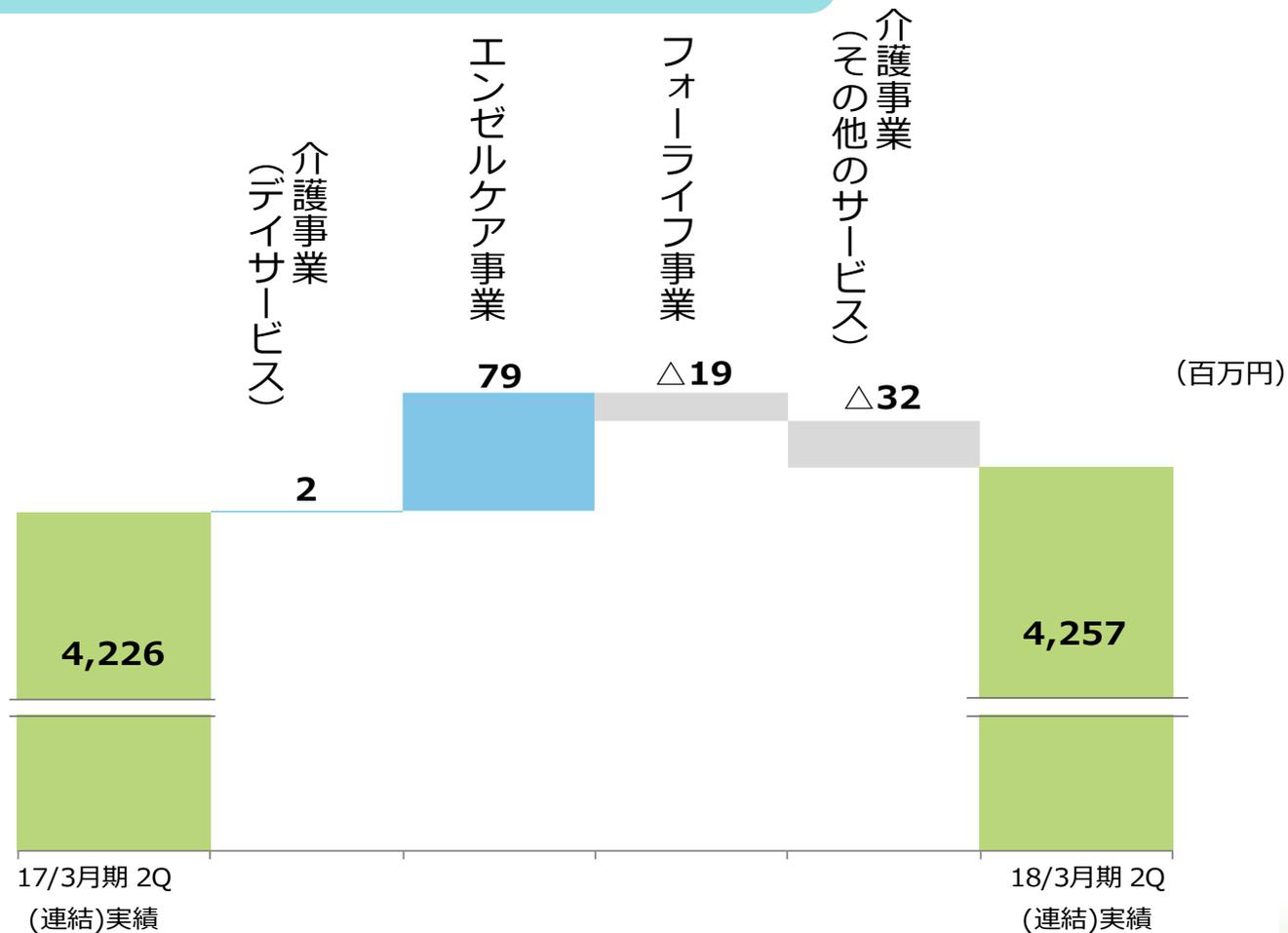
2018年3月期 第2四半期実績（累計）事業別業績概要

- 介護事業： 対前期比 1.0%減収 27.9%増益
- エンゼルケア事業： 同 10.1%増収 41.6%増益
- フォーライフ事業： 同 6.4%減収 13百万円減益

(百万円)	17/3月期 2Q (連結)		18/3月期 2Q (連結)		対前期比	
	実績	対売上高 比率	実績	対売上高 比率	増減額	増減率
売上高	4,226	100.0%	4,257	100.0%	30	0.7%
介護事業	3,136	74.2%	3,106	73.0%	△ 29	-1.0%
エンゼルケア事業	790	18.7%	870	20.4%	79	10.1%
フォーライフ事業	299	7.1%	280	6.6%	△ 19	-6.4%
セグメント利益	430	10.2%	549	12.9%	118	27.4%
介護事業	307	9.8%	392	12.7%	85	27.9%
エンゼルケア事業	111	14.1%	157	18.1%	46	41.6%
フォーライフ事業	12	4.1%	△ 1	-0.5%	△ 13	-
調整額	△ 430	-10.2%	△ 477	-11.2%	△ 47	-10.9%
営業利益	0	0.0%	71	1.7%	71	-

2018年3月期 第2四半期実績（累計） 売上高の増減分析

介護事業（デイサービス）およびエンゼルケア事業は好調に推移し、増収を達成
介護事業（その他のサービス）およびフォーライフ事業は人材採用の苦戦、競争の激化により減収

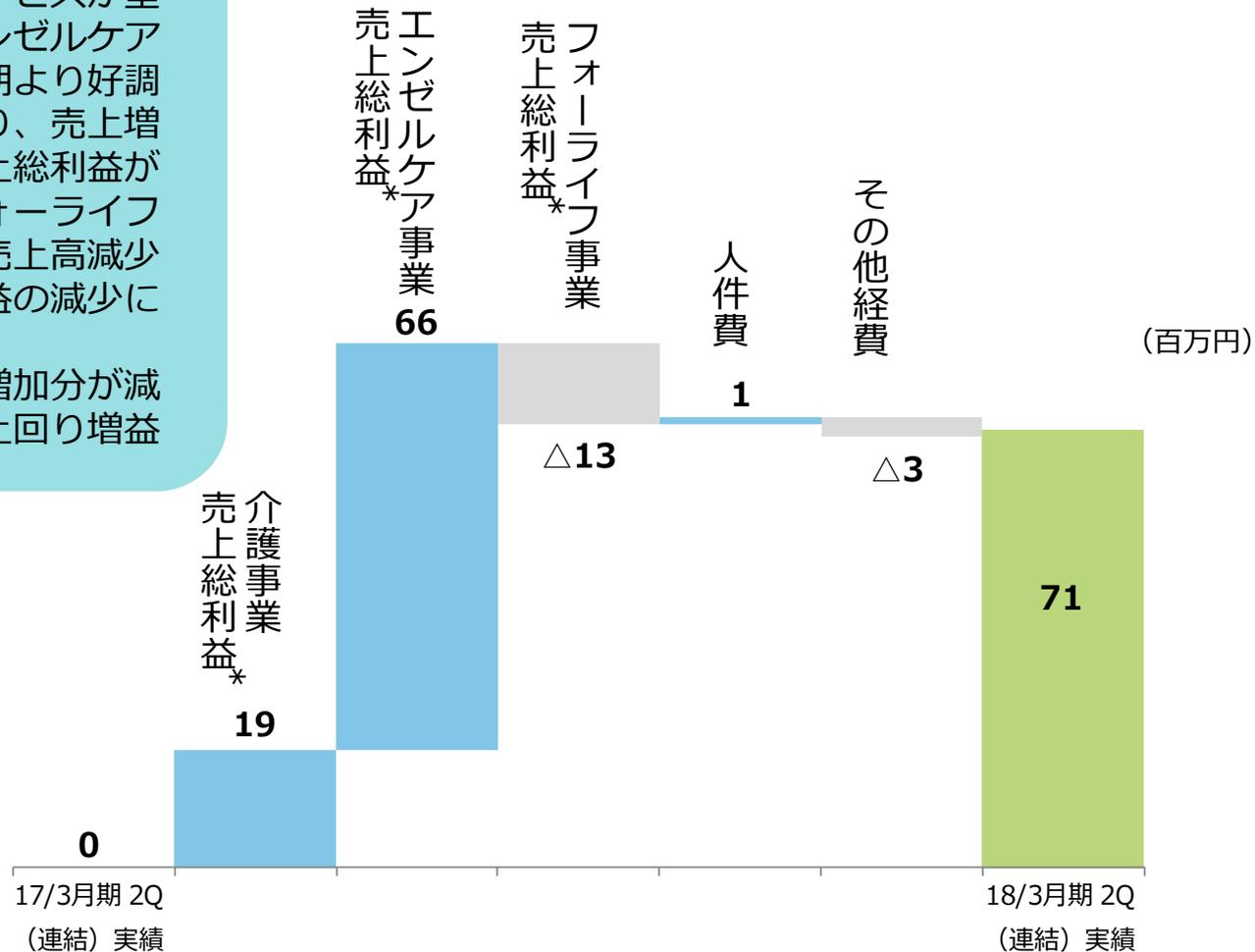


2018年3月期 第2四半期実績（累計） 営業利益の増減分析

<全体>

介護事業の中でも規模の大きいデイサービスが堅調であり、エンゼルケア事業も前下半期より好調を維持しており、売上増加分により売上総利益が上昇した。フォーライフについては、売上高減少分が売上総利益の減少に影響した。

全体としては増加分が減少分を大きく上回り増益となった。



*注意：人件費を除いた売上総利益額です

2018年3月期 第2四半期末 貸借対照表サマリ

(百万円)	17/3月期末		18/3月期 2Q末		対前期末比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	2,058	73.2%	2,280	75.9%	222
現金・預金	645	23.0%	803	26.8%	158
売掛金	1,269	45.2%	1,323	44.1%	53
固定資産	752	26.8%	723	24.1%	△ 29
有形固定資産	291	10.4%	265	8.8%	△ 26
無形固定資産	94	3.4%	82	2.7%	△ 12
投資その他の資産	367	13.1%	375	12.5%	8
資産合計	2,811	100.0%	3,003	100.0%	192
流動負債	1,009	35.9%	1,184	39.5%	175
買掛金	125	4.5%	144	4.8%	19
短期借入金	0	0.0%	0	0.0%	0
1年以内返済予定の 長期借入金	237	8.5%	266	8.9%	28
固定負債	479	17.1%	500	16.7%	21
長期借入金	324	11.6%	358	11.9%	33
負債合計	1,489	53.0%	1,685	56.1%	196
株主資本	1,325	47.1%	1,327	44.2%	2
資本金	205	7.3%	205	6.8%	0
資本剰余金	138	4.9%	138	4.6%	0
利益剰余金	1,129	40.2%	1,132	37.7%	2
自己株式	△ 148	-5.3%	△ 148	-4.9%	0
為替勘定調整勘定	△ 3	-0.1%	△ 4	-0.1%	0
純資産合計	1,321	47.0%	1,317	43.9%	△ 3
負債・純資産合計	2,811	100.0%	3,003	100.0%	192

【ご参考】自己資本比率の推移

- 17/3月期末 47.0%
- 18/3月期 2Q末 44.1%

(百万円)	17/3月期 2Q（連結） 実績	18/3月期 2Q（連結） 実績	対前期比 増減額
税引前四半期純利益	40	57	16
減価償却費	62	55	△ 7
受取和解金	△ 60	-	60
売上債権の増減額	△ 37	△ 53	△ 16
仕入債務の増減額	1	19	17
その他	△ 50	101	151
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 42	179	221
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 51	△ 31	19
借入金の増減額	△ 30	61	92
配当金の支払額	△ 24	△ 25	△ 1
その他	△ 28	△ 24	4
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 83	11	95
現金及び現金同等物の増減額	△ 178	158	336
現金及び現金同等物の期末残高	471	803	331

事業別事業所数・人員数の推移（国内）

■ 事業別事業所数の推移

(事業所数)	17/3月期				18/3月期 2Q末				対前期末比 増減数
	新規	統合	閉店	期末 事業所数	新規	統合	閉店	期末 事業所数	
介護事業	1	5	2	77	1	0	0	78	1
デイサービス（通所介護サービス）	0	3	1	49	0	0	0	49	0
訪問入浴サービス	0	0	0	12	1	0	0	13	1
その他サービス	1	2	1	16	0	0	0	16	0
エンゼルケア事業	0	0	0	21	1	0	0	22	1
フォーライフ事業	0	0	0	4	0	0	0	4	0

■ 事業別従業員数の推移

(人員数)	17/3月期 2Q末	18/3月期 2Q末	対前期末比 増減数
介護事業	1,001	948	△ 53
エンゼルケア事業	216	221	5
フォーライフ事業	74	72	△ 2
合計	1,291	1,241	△ 50

< 18/3月期 2Q 新規出店店舗 >

新規出店

- 訪問入浴コトニア赤羽【17/6】
- エンゼルケア立川【17/7】

※数値にはパート従業員を含む

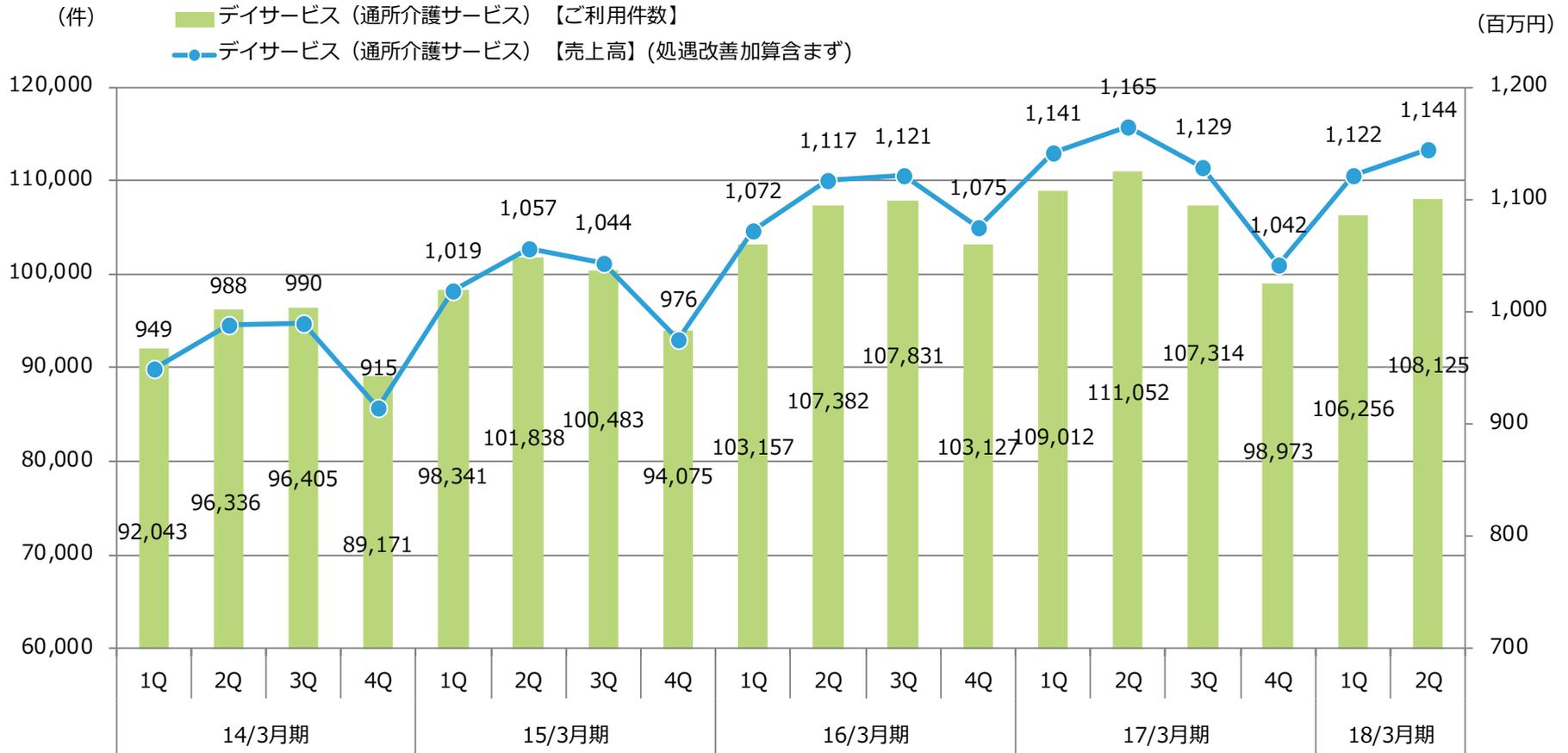
介護サービス別売上高とご利用件数の推移

- 介護事業は前期に行った統廃合の影響により売上高・ご利用件数ともに減少
- デイサービスでは統廃合によるお客様の他店舗への移動がスムーズに行われたため、売上高において大きく下がることはなかった。

	15/3月期 (個別)実績			16/3月期 (連結)実績			17/3月期 (連結)実績			18/3月期 (連結)実績
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期
売上高【百万円】										
介護事業	2,838	2,756	5,594	3,043	3,016	6,060	3,136	2,930	6,066	3,106
デイサービス (通所介護サービス)	2,076	2,020	4,096	2,271	2,280	4,552	2,396	2,257	4,653	2,398
訪問入浴サービス	522	494	1,016	506	467	973	473	454	927	471
その他	240	242	482	265	268	534	267	219	486	237
ご利用件数										
介護事業	273,178	262,575	535,753	279,413	276,709	556,122	284,109	263,087	547,196	273,097
デイサービス (通所介護サービス)	200,179	194,558	394,737	210,539	210,958	421,497	220,064	206,287	426,351	214,381
訪問入浴サービス	37,203	35,198	72,401	35,084	32,431	67,515	32,222	30,892	63,114	31,321
その他	35,796	32,819	68,615	33,790	33,320	67,110	31,823	25,908	57,731	27,395

※2016年3月期 2Qより連結決算に移行したため2015年3月期は個別決算の数値を利用しています。

介護事業（デイサービス） ご利用件数の推移





介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2018年3月期 通期連結業績予想概要

2018年3月期 業績予想サマリ

- エンゼルケア事業
 - ・エンゼルケア2店舗開設、既存21店舗の稼働率向上を推進
 - ・中国国営殯儀館（葬儀場）におけるエンゼルケア事業の積極的展開
- 介護事業
 - ・デイサービス1店舗開設、既存49店舗の稼働率向上を推進。
 - ・デイサービス13店舗で展開している日曜営業の一層の稼働率向上を推進
 - ・訪問入浴サービス1店舗開設、既存12店舗の稼働率向上を推進
 - ・中国子会社における介護事業本格化
- フォーライフ事業・・・既存施設4店舗の入居率向上を推進

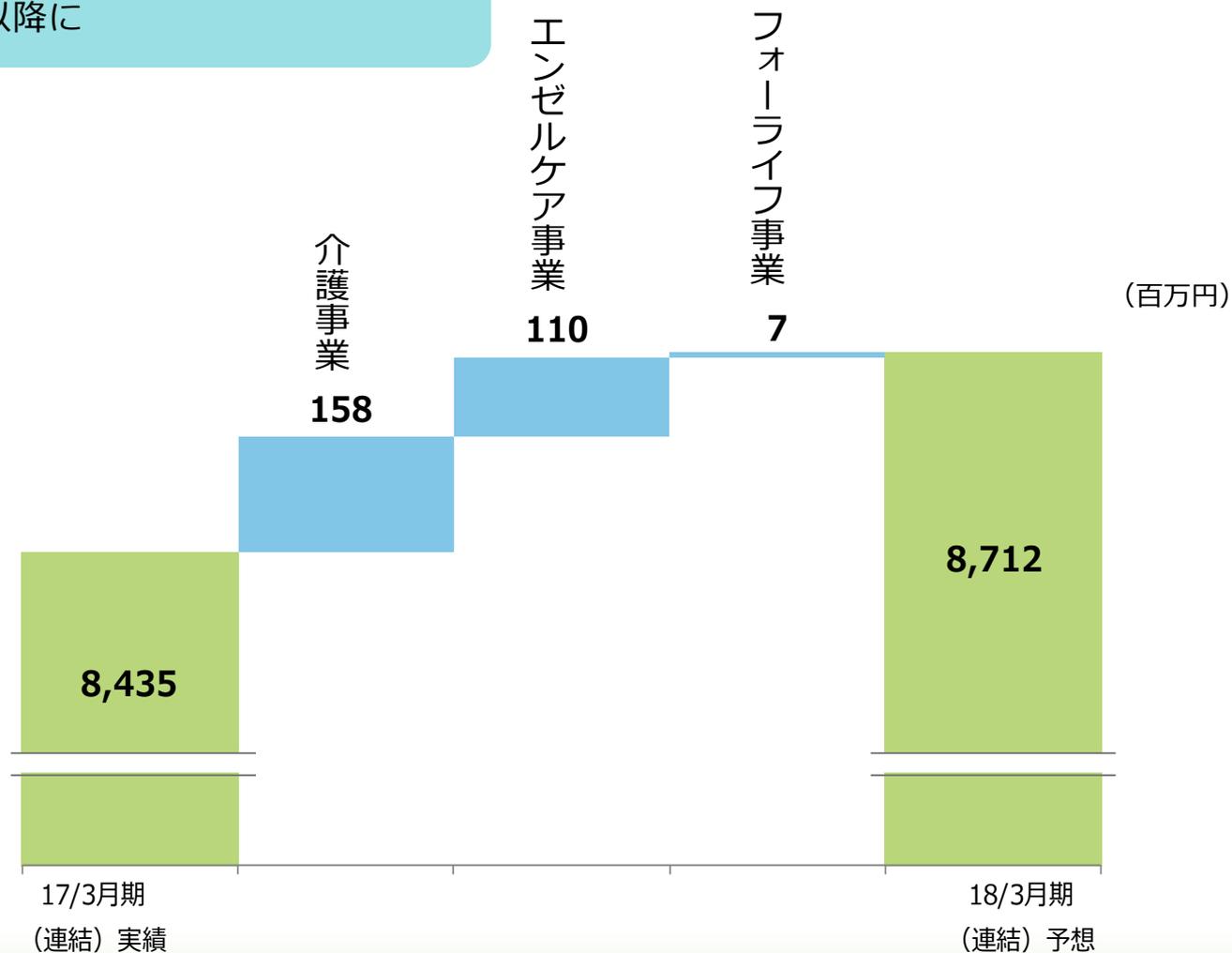
	(単位)	17/3月期	17/3月期	17/3月期	18/3月期	18/3月期	18/3月期	対前期比	
		上期実績 (連結)	下期実績 (連結)	通期実績 (連結)	上期実績 (連結)	下期予想 (連結)	通期予想 (連結)	増減額	増減率
売上高	(百万円)	4,226	4,208	8,435	4,257	4,455	8,712	277	3.3%
介護事業	(百万円)	3,136	2,930	6,066	3,106	3,119	6,225	158	2.6%
エンゼルケア事業	(百万円)	790	977	1,767	870	1,008	1,878	110	6.3%
フォーライフ事業	(百万円)	299	301	601	280	327	608	7	1.2%
営業利益	(百万円)	0	233	234	71	168	240	5	2.5%
経常利益	(百万円)	63	226	289	61	161	222	△ 66	-23.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	19	137	156	27	112	140	△ 15	-10.2%
主要拠点数 ※1									
介護事業	(拠点)	84	77	77	78	79	79	2	2.6%
エンゼルケア事業	(拠点)	21	21	21	22	23	23	2	9.5%
フォーライフ事業 ※2	(拠点)	4	4	4	4	4	4	0	0.0%

※1 主要拠点数は国内のみ記載しております

※2 特定施設入居者生活介護の認可を受けておりま
す

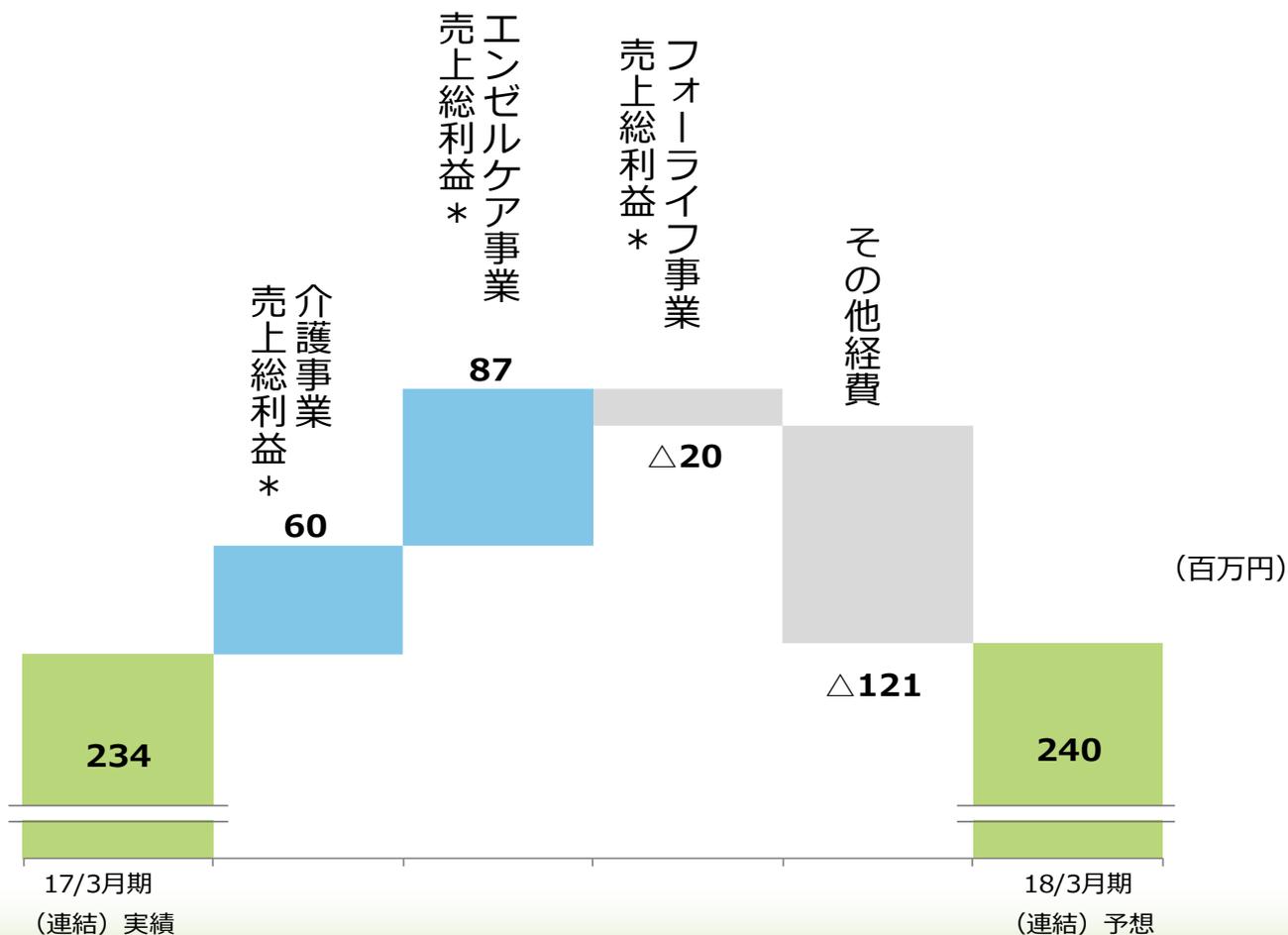
2018年3月期 売上高予想の増減分析

介護事業およびエンゼルケア事業にて中国の売上高が計上されるが、本格的な上昇は2020年3月期以降に



2018年3月期 営業利益予想の増減分析

国内事業および上海・北京の中国事業に積極的に投資を行うため、大きな増益には至らないが、国内エンゼルケアの2事業所増設や急激な売上高の落ち込みからの業績回復の影響もあり、わずかながら増益予定



2018年3月期 上半期トピックス

訪問入浴事業所の新設

- 2017年6月「訪問入浴 コトニア赤羽」事業所開設
⇒ デイサービスセンターと居宅介護支援事業所を既に展開しているJRの施設であるコトニア赤羽内に新たに訪問入浴事業所を開設



訪問入浴サービス提供のイメージ

エンゼルケア事業所の新設

- 2017年7月「エンゼルケア立川」事業所の開設
⇒ビジネスパートナーとの取引拡大に伴い、「エンゼルケア立川」開設
開設2か月目より単月黒字達成



エンゼルケアサービス提供のイメージ

介護に特化した人材事業を行う子会社を設立

- 2017年4月「株式会社ケアサービスヒューマンキャピタル」を設立
 - ⇒介護求人における求職者と事業者のミスマッチを解決すべく介護に特化した人材子会社を設立
 - ⇒2017年9月に有料職業紹介事業許可および労働者派遣事業許可を取得
人材紹介事業・紹介予定派遣事業の開始に向けて体制を構築



Human
Capital

株式会社 ケアサービス
ヒューマンキャピタル

有料職業紹介事業許可番号: 13-ユ-308829
労働者派遣事業許可番号: 派13-308286

上海におけるエンゼルケアサービス提供殯儀館（葬儀場）の拡大

- 2017年5月「上海市閔行区殯儀館（葬儀場）」にてサービス提供開始
- 2017年9月「上海市奉賢区殯儀館（葬儀場）」にてサービス提供開始
⇒上海市にある15ある国営殯儀館（葬儀場）のうち、
「上海福原護理服務有限公司」が3つの葬儀場にてサービスを提供



閔行区葬儀場内サービス提供専用室



奉賢区葬儀場内エンゼルケア広告

北京における合併会社の立ち上げ

- 2017年8月「北京福原順欣養老管理有限公司」を現地企業と合併で設立
⇒「介護からエンゼルケアまで」のサービスを北京および他の都市圏で展開していくために現地企業2社の経営陣が出資する合併企業「北京精益順欣管理咨询有限公司」と合併会社を設立
⇒来期の本格事業展開に向けて、市場調査およびフランチャイズの新規営業開拓の計画を策定



釣魚台国賓館で行われた会社設立記念式典の様子
(福原社長挨拶)

中期成長戦略の推進

**1. 国内介護事業
ドミナント戦略の推進**

2. 国内既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 中国での事業展開

**1. 国内介護事業
ドミナント戦略の推進**

2. 国内既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 中国での事業展開

強固なドミナントエリアの再形成

■ 複合型在宅介護施設の新設

⇒ デイサービスセンターの新設や老朽化したデイサービスセンターの移転を基本に、さらに近隣で移転が可能な介護事業所を集約し、複合型在宅介護施設として開設



経費削減およびケアサービスのブランディング強化



・ 複数事業所展開している訪問入浴、居宅介護支援、デイサービスセンターの事業所を集約

・ 10月に世田谷区弦巻に開設、さらに今期中に1施設開設を予定

世田谷区弦巻複合型在宅介護施設(10月開設)

1. 国内介護事業
ドミナント戦略の推進

2. 国内既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 中国での事業展開

エンゼルケア事業所の新設とサービス品質の維持向上

- **エンゼルケア米沢事業所を2017年11月に開設**
⇒ 今期、事業所新設を予定していた西湘エリアから山形県米沢に変更
西湘エリアについては、引き続きビジネスパートナーと調整を図る
今後もエンゼルケア事業については、拡大計画を推進する
- **「品質向上プロジェクト」を進化させ、エンゼルケアプログラムを策定**
⇒ 高い業務レベルでのサービス提供ができるように取り組んでいる
「品質向上プロジェクト」をより進化させ、映像などを含め、
わかり易いエンゼルケアプログラムとして作成し、来期より実行する



プログラムでは、所作にまでこだわり、高い業務レベルを追求

1. 国内介護事業
ドミナント戦略の推進

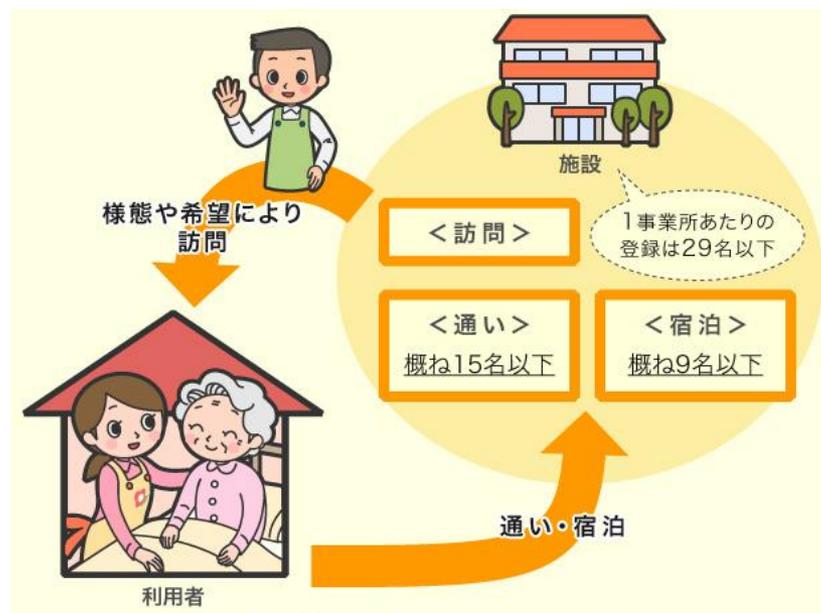
2. 国内既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 中国での事業展開

小規模多機能型居宅介護事業の開始

- ショートステイ西蒲田を小規模多機能型居宅介護 西蒲田として転用
⇒お客様が住み慣れた地域でできる限り長くご自身の生活を続けられるように施設への「通い」を中心に「宿泊」「訪問」までサポートする小規模多機能型居宅介護サービスを2017年10月より開始。



小規模多機能型居宅介護の概要

出典：厚生労働省ホームページ「どんなサービスがあるの？ - 小規模多機能型居宅介護」、
<<http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/publish/group11.html>> 2017年10月20日アクセス。

ケアサービスヒューマンキャピタルによる人材紹介業の開始

- ケアサービスの人事業務代行から、介護人材紹介業へのステップアップ
⇒人事業務の代行をすることにより、介護求職者と介護事業者両者の悩みを把握することができ、双方のミスマッチが起こらない紹介が可能
下期より人材紹介開始、早期拡大を図り、紹介予定派遣業開始に備える



1. ドミナント戦略の推進

2. 既存事業の強化

3. 新たな取り組み

4. 中国での事業展開

北京福原順欣養老管理有限公司 (北京ケアサービス)

北京ケアサービスの本格的始動に向けて

■ 合併先企業と連携し、来期から本格的な事業展開開始

- ⇒ケアサービスから執行役員を1名現地に常駐させ、今期は綿密な市場調査、各所との関係構築、合併先企業とのFC獲得計画の策定に注力
- ⇒来期のスピードある事業展開に対応できる人員体制を今期中に確立



中国子会社

(北京福原順欣養老管理有限公司)

北京福原順欣養老管理有限公司による事業展開

訪問入浴フランチャイズ本部として北京をはじめとした大都市を面で押さえる

- 合併企業の営業力・交渉力等の強みを生かし、2018年3月期、2019年3月期は相当規模の投資を行い、大都市圏を面で抑える。2020年3月期以降に収益に寄与する計画

介護事業の段階的拡大

- 訪問入浴フランチャイズ本部として実績を積み上げ、開拓した大都市に介護研修の受託、デイサービス等の事業を段階的に拡大する

「介護からエンゼルケアまで」のサービス提供体制の構築

- 「介護からエンゼルケアまで」の一貫したサービスが提供できる体制構築を早期に実施するため、エンゼルケア事業の早期立ち上げも視野に入れる

上海福原護理服務有限公司 (上海ケアサービス)

事業拡大のための人材育成とサービスの認知度向上

■ エンゼルケア・・・2018年3月期上半期に今期の目標である3葬儀場でのサービス提供開始

⇒まだまだサービス自体の認知度があまり高くないために、葬儀場窓口担当者への営業活動やイベント・展示会への参加が必要
また、次の葬儀場への展開を考え、エンゼルケアスタッフの育成を同時並行で実施する

■ 訪問入浴・・・広報活動および営業を強化

⇒認知度向上のため、広報活動を強化
さらに行政や施設を保有する法人に向けての営業活動を強化する
地方政府からのサービス利用補助金を使っでのサービス利用を促進し、同時に事業拡大を踏まえて人材育成を実施する



中国子会社

(上海福原護理服務有限公司)

ご清聴ありがとうございました。



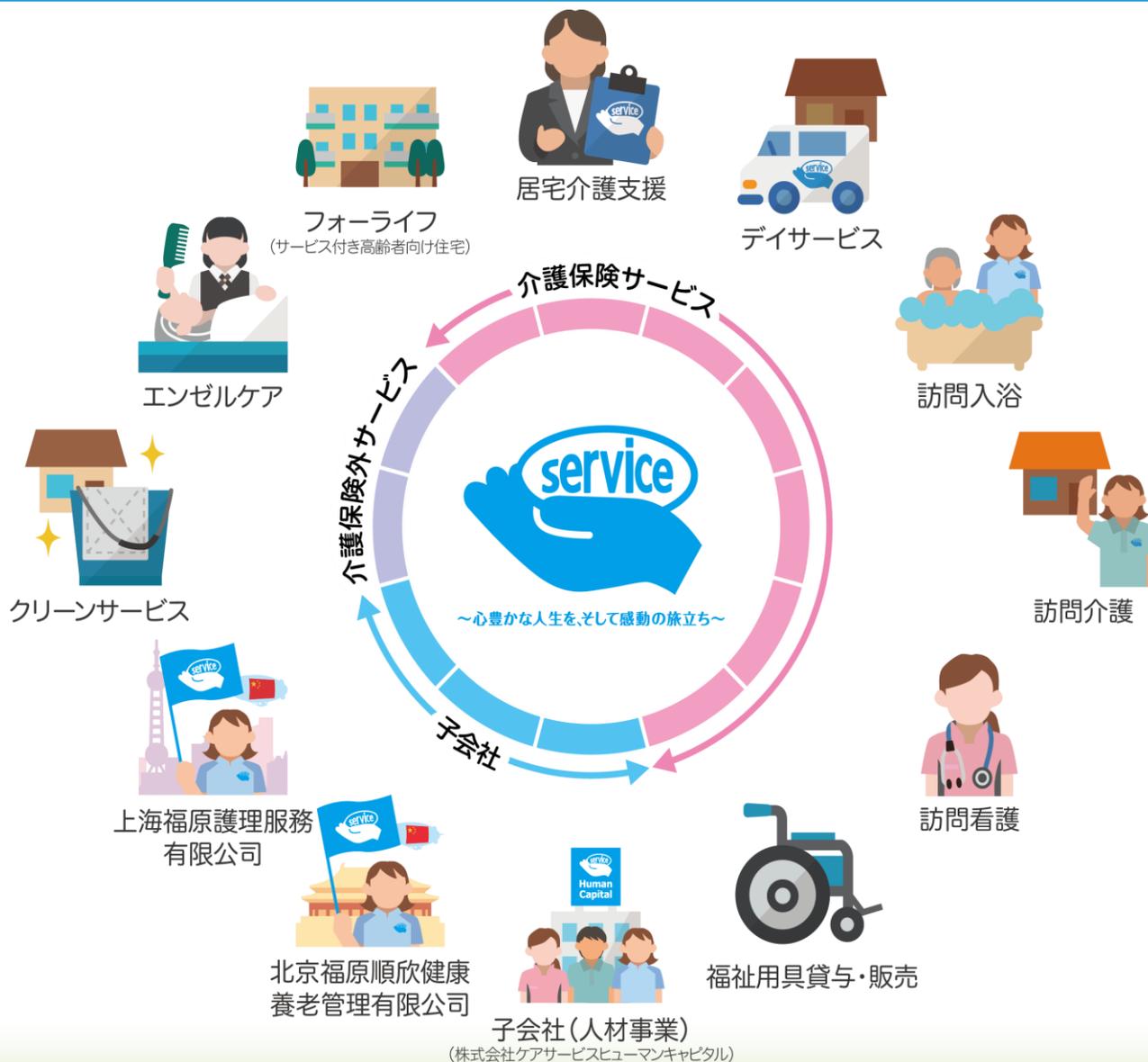
介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

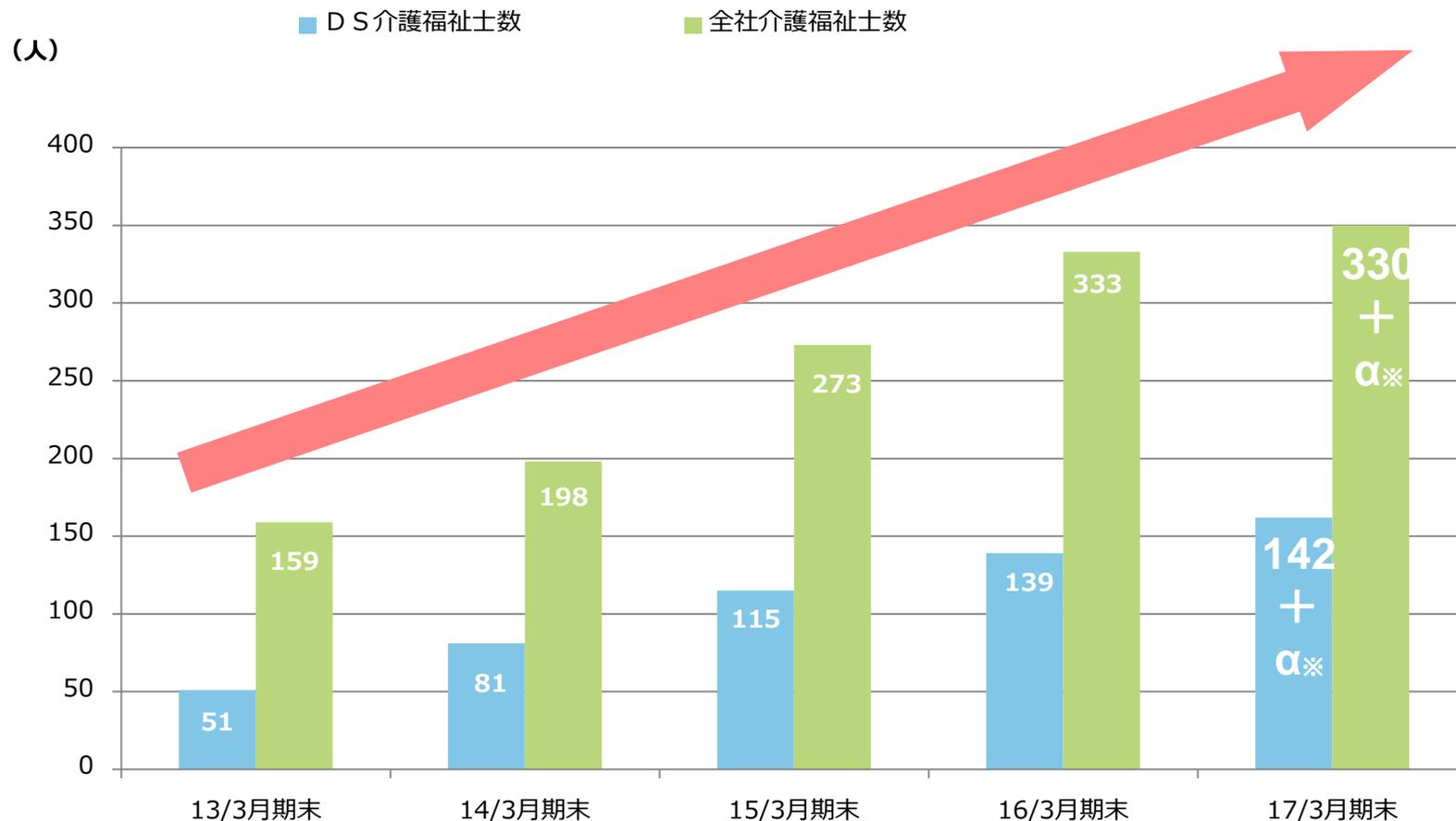


介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

参考資料

ケアサービスの状況





※2017年3月の合格発表者分が加算されておられません。
約20名の合格を想定しております。

■ 教育・研修の強化により、着実に介護福祉士数が増加

■ 市場環境の前提

- 社会の高齢化は引き続き進むものの、新規事業者の参入等により、競争はさらに激化
- 3年に1度の介護報酬改定については、今後とも報酬抑制の傾向が継続

【ご参考】

	(単位)	17/3月期 実績	18/3月期 予想	19/3月期 計画	20/3月期 計画	当中計期間 年平均変化率
売上高	(百万円)	8,430	8,712	9,072	9,770	5.9%
介護事業	(百万円)	6,066	6,225	6,438	6,960	5.7%
エンゼルケア事業	(百万円)	1,767	1,878	2,024	2,201	8.3%
フォーライフ事業	(百万円)	601	608	608	608	0.0%
営業利益	(百万円)	234	240	305	534	49.2%
経常利益	(百万円)	289	222	293	522	53.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	156	140	191	326	52.7%

主要拠点数 ※1

デイサービス	(拠点)	49	50	52	54	3.9%
エンゼルケア	(拠点)	20	22	23	24	4.4%
フォーライフ ※2	(拠点)	4	4	4	4	0.0%

※1 主要拠点数は国内のみ記載しております

※2 特定施設入居者生活介護の認可を受けております

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

株式会社ケアサービス 企画部広報IR課
TEL 03-5753-1170
E-mail ir@care.co.jp